

## 阿久比町教委との話し合い 2022年10月14日(金) 16:00～ 於阿久比町役場

委＝阿久比町教育委員会 竹内比名子教育長職務代理者 中川学教育部長 万年誠治指導主事

組＝知教芳 佐田 京美 委員長(大府中) 市野 司副委員長(西部中) 岩澤 真理(英比小)

### 1. 学区選択制とクラス増に伴う対応について

組 東部小と英比小で学区選択制が行われている。職員は当初、5年を目途にと聞いていた。管理職に問い合わせてもらったら「令和9年度まで」と。現場ではクラス増の対応がある。英比小は特別支援学級が増え、35人学級のこともあり教室が足りない。特別教室を通常教室にするとも聞いた。来年度は3クラス増え、どこを通常教室にするのか校内で検討しているが、それは学校が行うことなのか？職場が混乱している。町としての方針はあるのか？

委 令和9年度で終わる。以降も兄弟がいればその学校を選択できる。特別支援学級の教室を半分にする等で対応する。もう少し辛抱してほしい。東部小はプレハブを建てたが、英比小はプレハブを建てなくても運用できると計算している。先生方の意見を聞き、必要な備品を取りそろえていく。

組 どの教室を通常教室にするかということは教委で考えているのか？

委 図面には落としてある。学年配置等の、学校側の使いやすさも学校と相談しながら考慮する。

組 令和7年度がピークとなるが、何クラス増になるのか？

委 英比小も増えるが東部小のプレハブを無くす兼ね合いもある。プレハブは6年度までリース期間となっている。

組 教委が出した意見を現場に伝え、すり合わせを行っていくということのようだが、現場では「現場で考えてください」というように受け止められている。

組 通常教室が増える中で、特別教室は維持できるのか？

委 現在使用している特別支援学級を改修して、対応しようと考えている。

組 特別教室を通常教室にするなら、現場に早めに示してほしい。見通しが立たない。

委 早めに示せるようにしたい。

組 毎年、現場の教師が様々な物品を、引っ越し業者のように大移動している。そのような面にも力を貸してほしい。

委 極力応えていきたい。

### 2. 部活動について

組 部活動の地域移行はどうなっているか？

委 令和5年度の夏に体制が整うようにしたい。社会教育課が中心となりNPO法人に委託をし、地域移行を進める計画をしている。部活の数等は維持し、極力子どもたちの活動に

弊害がないようにしたい。移行期間には兼職兼業で先生方に協力をしてもらう面もある。予算も要望を出している。

組 兼職兼業については事前にアンケート等を行うのか？

委 本来は希望する先生だけで行えるのが理想だが、子どもたちの活動を維持するためには先生方の協力が必要になる。

組 NPOへの委託は土日だけを考えているのか？

委 平日も視野に入れて検討している。

委 自分たちの考えと、県や国が後から出してくるものとのすり合わせが必要なので課題は多い。別組織を立て、指導者さえいけば部活を移行できるというシステムを構築したい。

委 地域の代表を集め検討委員会も行った。

組 検討委員会はいつからやっているのか？

委 8月。地域や保護者の意見を聞きながら、移行ができたらと考えている。

組 兼職兼業ということは、学校とは全く別組織か？

委 そうだ。ただ兼職兼業をやるには、学校と部活双方での先生方の勤務状態を把握しないとイケない。

組 生徒の部活自由参加や先生の顧問任意化はどうか？

委 生徒は今年度から自由参加になった。先生は、顧問できないという人は要望を聞くが、基本はやってもらっている。

組 最終下校時刻は何時か？

委 夏期間は18時だが、来年度から17:30になるよう検討している。地域移行で兼職兼業になると先生たちの勤務時間のこともあるので調整が必要。

### 3. 改正給特法の指針に沿う業務量の縮減について

組 休憩時間が取れなかった場合、別に入力しなければ「休憩が取れた」ことになってしまうシステムになっている。

組 子どもたちがいる間は「休憩は取れない」という共通認識をもちたい。休憩は一斉付与が原則だ。

委 一斉に取れないのは認識している。取れる方法があるなら模索すべきだし、取れないなら「子どもがいる時間は難しい」というのは意識としてほしい。

組 基本的には取れないのだから、入力も「取れたら修正する」形にする等、正確な記録を徹底してほしい。職員に対しても勤務時間を意識させるよう何度も言ってほしい。

**組** 「若あゆ日記」の編集等の他団体の業務はやめるべき。現場で教える人が足りていないのに、授業に補欠を出して他団体の業務をしに行くのでは、現場が困る。

**組** 次の年度のを前の年度中に注文している。本当に必要な教材かどうか検討すらしめない。「教員が編集するものとして必要かどうか」「市販教材で代用できるか」「そもそもなくて良いものか」等をアンケート調査し実態を把握すべき。出張旅費もその団体が払うべきで、県費で払うものではない。今は市販のものやタブレットもあるので、教員が編集する各種冊子はもう必要ないと考えているが、公費で買うとなるとやめられない。

**組** 阿久比町は再任用ハーフ2人で1学級担任はないか？  
**委** ない。

**組** 教務・「校務」が担任を務めている学校は？  
**委** 草木小で退職者があり、補充者が見つかっていない。校務主任が担任をしている。

**組** 教務・「校務」が担任も、となると多忙が極まる。教務・「校務」の業務を削減すべき。「校務」の草取りや修繕は教員免許状をもつ人のやることではない。授業をしてほしい。「校務」を担当する教員外の人を確保する方向性はないか？

**委** 阿久比町は庶務担当があり、校務の先生とやり取りしながら極力お手伝いしている。契約は庶務担当がやっている。環境整備を全て他に任せるのはお金がかかる。学校の先生にも協力をいただき、全員で協力してやっていくことが必要。

**組** 庁舎や病院等、公共施設の環境整備には専門の業者が入っている。なぜ学校には入らないのか？

**委** 予算がつけられればやるが、今のところ予算はついていないのでできない。

**組** 考えが時代遅れになっている。学校の施設は緑が多い。掃除の時間に草取り等はやっているが、自分たちだけでは覆いきれない。

**組** 子どもたちの遊具の所が草だらけになっている。そこを「校務」主任ほか校長・教頭、他の人が朝な夕な時間外に草取りしている。「現場で何とかして」と言われても追いつかない。「私たちの本来の仕事ではない」ということをわかってほしい。

**組** 幼保小中連携事業のあいさつ運動で、勤務時間前に先生たちが立ち番をするのはおかしいのではないか？

**委** 町の職員もゼロの日は交通立哨を勤務時間前に行っている。あいさつ運動も職員にお願いして、交代してやっている。時間外かもしれないがボランティアという考えも一つだと思うので、地域の方と一緒にやっていただきたい。

**組** ボランティアで仕事をしているわけではない。ボランティアは強要するものではない。

**委** 強要はしていない。

**組** 学校に子どもが来れば普通に「おはよう」とあいさつする。教室でもあいさつする。それを勤務時間前に教員を立たせて「おはよう」の連呼を強要しているのがあいさつ運動だ。あいさつ運動は限定4項目に入っておらず、給特法違反だ。

**委** あいさつ運動を町を挙げて行っている。学校の先生にも、「お願いします」という形でやっている。納得できないのなら考えるが、我々は「お願い」している立場だ。

**組** 立場が上の方がする「お願い」はイコール「命令」だ。それはわかってほしい。

**組** 各校の職員会議で提案されるということは「業務」ということになる。給特法違反の「業務」を「ボランティア」として提案されるのはおかしい。

**委** 時間外のところは割振りや勤務時間の移行で対応してもらっている。勤務としてはボランティアで参加してもらっているわけではない。幼保小中連携は阿久比町の特色ということで「みんなで一斉に」ということでやっている。

**組** あいさつ運動は朝に立ち番で、ということではなく、学校の教育活動の中で勤務時間内にやるということならわかる。

**委** 朝は地域の方や役場がやり、帰りの時間は学校がやるというような、勤務実態に合ったバランスをとった形になっていくように、というのは検討材料だと思う。

#### 4. 学校訪問について・その他

**組** コロナで縮小されたのが、元に戻ってきている。学校訪問要項に、各校の多忙化解消の取組の指導も追加された。

**委** 教頭会を通じて各校の働き方改革の取り組みを情報交換した。各校の良い取り組みを共有し改革を進めたい。

**組** 留守電対応の時間を延長してほしい。

**委** 校長会で話題は出ている。最終下校の見直しと同時に留守電対応についても検討できたらと思う。

**組** 阿久比町の「特定事業主行動計画」に、阿久比町で働く教員は適用されるはずだが、まだ適用されていない。

**委** できていないことは把握している。「教育委員会」も含まれているので、それを拡大し検討が必要。現状は教員の勤務実態に合っていない。

以上